

岐阜県の森林・林業

森もり林のたより

白山白川郷ホワイトロードの紅葉を
お楽しみ下さい

No.793
2019 October

10

FREE

ご自由にお持ちください。



日本の滝100選 姥ヶ滝

白山 北アルプス

ブナの原生林

紅葉 雲海 世界遺産

33.3km
ずっと
絶景。

白山白川郷ホワイトロード
Hakusan Shirakawa-go White Road

片道利用料：普通車……1,600円 軽自動車……1,400円
マイカーパス……4,900円 大型バス……10,800円
お問い合わせ：白山林道白山管理事務所 076-256-9211
白山林道秋葉管理事務所 05769-6-1664
<http://hs-white-road.jp/>
ホワイトロード

●白山白川郷ホワイトロードのご利用については6ページをご覧ください。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

| 開催日 | 行事名等 | 内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など) | 場所 申込(問合せ)先/TEL |
|---------------------|---|---|---|
| 9月1日(日)~10月31日(木) | 緑の募金(秋期) | 「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに秋の緑の募金を行います。 | 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp |
| 10月5日(土) | 岐阜大学70周年記念シンポジウム 「野生動物管理の推進を担う地方大学の取り組み」 | ●概要: 野生動物管理の体制を大学として構築し、先進的な取り組みを進めている複数の大学の事例を紹介し、この分野の発展ならびに地域社会との連携強化の重要性を共有することを目的に開催します。 ●時間: 13:00~17:30 ●参加費: 無料 ●対象: 教職員、自治体、学生、一般、企業関係者 ●事前申込期限: 事前申し込みは締め切りですが、当日参加は可能です。配布資料をお渡しできないことがあります。 ●定員: 350名 ※本シンポジウムは(一社)建設コンサルタンツ協会のCPDプログラムに登録されています。 | 岐阜大学講堂(岐阜市柳戸1-1) 岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学術センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX:058-293-3416 メールアドレス: semrcwm@gifu-u.ac.jp URL https://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/ Facebook http://www.facebook.com/gurcwm/ |
| 10月19日(土) | リラックス・ラン〜森林浴×トレッキング×ときどき、ラン〜 | ●森林文化アカデミーの演習林の全長約3kmのコースを、自然観察をしたり五感を使った森林浴を行ったり、ときどきジョギング程度に走ったり、とアクティブに活動します。希望者はスマートフォンを使って歩数測定などによる活動前後の変化も体験できます。 ●時間: 9時30分~12時30分 ●場所: 森林文化アカデミー 演習林 およびその周辺 ●定員: 15名(先着) ●参加費: 2,500円 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター(仮称)試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。 | 森林文化アカデミー(美濃市首代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/relax_run/ |
| 10月20日(日) | 森林の仕事ガイダンス(名古屋) | ●岐阜県と愛知県の林業に関する事業者や団体が参加して、林業就業相談や、森林・林業に関する様々な情報提供を行います。 ●時間: 11時から15時 ●主催: 森のジョブステーションぎふ、愛知県林業振興基金 ●後援: 岐阜県、愛知県 ●その他: 参加費無料、事前申込み不要 | 名古屋国際センターホール(名古屋市中村区那古野1丁目47番1号) 森のジョブステーションぎふ TEL 0575-33-4011 |
| 10月26日(土) | 野生のきのこを知ろう | ●秋に発生する野生のきのこをフィールドで観察し、名前の調べ方や生態について学びます。毒きのこの誤食による中毒事故が後を絶ちませんが、中毒事故を未然に防ぐ意味でも、きのこについての知識をしっかり学べる講座です。 ●時間: 9時30分~12時45分 ●場所: きふ清流里山公園 ●参加費: 保険料として100円程度 ●定員: 20名(先着) ●申込締め切り: 10月4日(金) | きふ清流里山公園(受付: あじさい工芸館 研修室) (美濃加茂市山之上町2292-1) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/kinoko191026/ |
| 10月27日(日) | 令和改元記念 揖斐すめらぎの森感謝祭 | 皇室三代にわたる森林づくりが行われた揖斐川町の森の命名を記念し、親子で森や木に親しみ、楽しめる様々な体験イベントを開催します。 ●内容: 記念式典、記念講演、リンスンサート、森の恵みバザー、ぎふ木育体験ほか ●時間: 9:50~15:00 ●会場: 無料 | 揖斐川町谷汲緑地公園(揖斐川町谷汲名村) 揖斐川町まちづくり推進課未来戦略課 TEL 0585-22-2111 林政課森林企画係 TEL 058-272-1111(内線 3023) |
| 11月2日(土) 11月3日(日・祝) | ぎふの木フェスタ2019 | ●子どもから大人まで丸ごと1日「ぎふの木」に親しみ、木の良さや木を使うことの大切さを体験し楽しむことができるイベントです。 ●開催時間: 10:00~16:00(両日とも) ●内容: 木のおもちゃ広場、赤やん木育広場、ウッドチップ広場、ジャングルジム組立体験、アシレチック等各種体験イベントを開催します。また、木工品などの販売や、ぎふの木ビッグ大会、丸太いす大抽選会も行います。 ●入場無料 | 岐阜メモリアルセンター「芝生広場」(岐阜市長良福光) 岐阜県林政部県産材流通課 TEL 058-272-8486 FAX 058-278-2705 |
| 11月9日(土) | 連続講座「野生動物を知る」(第5回) | ●内容: 縮む社会におけるサルとの付き合い方 ●講師: 江成広斗 氏(山形大学/准教授) ●時間: 10:00~12:00 ●参加費: 無料 ●対象: 一般市民、行政職員、関係者等 ●事前申込期限: 11月7日(木) (当日参加も可能ですが、資料をお渡しできないことがあります) | 岐阜大学応用生物科学部 101 多目的ホール(岐阜市柳戸1-1) 岐阜大学応用生物科学部 附属野生動物管理学術センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 TEL&FAX:058-293-3416 メールアドレス: rcwm@gifu-u.ac.jp URL https://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/ Facebook http://www.facebook.com/gurcwm/ |
| 11月9日(土) 11月10日(日) | 生き物を切り絵でつくろう! ~切り絵づくりを通してのきのこを知ろう~ | ●森林文化アカデミーの秋祭(学園祭)において、きのこや昆虫など身近な生き物を観察したり、図鑑などで調べ、特徴をのらえて切り紙で表現する講座を開催します。 ●時間: 各日 11時~13時30分(の2回) ●場所: 森林文化アカデミー 講義室B ●参加費: 500円・各回20名(先着) ●申込締め切り: 10月25日(金) | 森林文化アカデミー(美濃市首代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/ikimono_kirie/ |
| 11月9日(土) 11月10日(日) | 秋のきのこ展 ~岐阜県の森林で見られる野生のきのこを知ろう~ | ●森林文化アカデミーの秋祭(学園祭)において、県内の里山の林でみられる野生のきのこの実物展示と解説を行います。 ●時間: 両日 10時00分~15時30分の間随時 ●場所: 森林文化アカデミー 講義室B ●参加費: 無料 | 森林文化アカデミー(美濃市首代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/kinoko_ten2019/ |
| 11月16日(土) | 狩猟免許試験 | 狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 10月18日(金)~11月1日(金) ※事前に申請書類等の提出が必要。詳しくは右記にお問い合わせください。 | 飛騨高山高校 山田キャンパス(岐阜県高山市山田町711) 各地域を所管する県事務所 または環境企画課(058-272-1111 内線 2701) |
| 11月18日(月)~12月3日(火) | 令和2年度森林文化アカデミー入学試験(第2回)願書受付期間 | ●森と木のエンジニア科(一般入試)12月14日(土) ●森と木のクリエイター科(入試2)12月15日(日) ●入学願書(学生募集要項)については、ホームページ(https://www.forest.ac.jp/)からダウンロードできます。 | 森林文化アカデミー(美濃市首代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp |
| 11月30日(土) | 第27回緑の育成と樹木保護保存セミナー | 県民参加による森林づくりや貴重な樹木の保護・保存を推進するため、岐阜県緑の博士(グリーンクター)協議会と共催で開催します。 ●内容: 木の実を使ったクリスマスリースづくりと木の実の勉強会など ●時間: 9:30~12:00(受付: 9:10~) ●参加料: 無料 ●事前申込: 必要(別途ホームページ等でご案内します。) | 岐阜市西部コミュニティセンター(岐阜市下鶴飼1丁目105) 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547 E-mail gifu-ryokusui@mtj.biglobe.ne.jp |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|------------------------|--------------|--------------------|--------|-------------------|--------|----------|-------------------------------|----------------|-------------------|-------------------------------|---------------|----------------------------|--------------------------------|--------------------------|----------------|--------------------|---------------|--------------|--------------------------|
| 22 | 21 | 21 | 20 | 18 | 17 | 16 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 3 | 2 | |
| 市況 | 林業者向けお知らせ | 自然の安定供給による林業の成長産業化への貢献 | 国有林の現場から(36) | 岐阜地域(本巣地域)における普及活動 | 普及コーナー | ヒノキ球害虫の省力的な防除に向けて | 研究コーナー | 治山林道研究課題 | 森の名字・名人シリーズ(50) 建員は、自分を表現するもの | 森林と人を活かす知恵(81) | 学びがたつぷり1学長室の家具づくり | 森の名字・名人シリーズ(50) 建員は、自分を表現するもの | 羽島市立竹鼻中学校 武道場 | わがまちの森林 環境行政(34) 恵那市の森林づくり | シリーズ: 『森林・環境税』で、緑豊かな清流の国づくり(6) | 那上市の「ふるさと館」とスギ人工林が林業遺産に! | 森林と人を活かす知恵(81) | 喜寿記念同窓会、ヨツズシナナカミキリ | 木の香るぎふの施設(79) | 山のおもしろさ(339) | 選手村ビレッジプラザ提供木材出荷式を開催しました |

岐阜県の森林・林業 News of the forest

森もり林のたより

No.793 10
2019 October

表紙 ● 白山白川郷ホワイトロードの紅葉をお楽しみ下さい

**100年先の
森林づくり
シリーズ10**

第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29～H33）では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆100年の森林づくり計画実践プロジェクト

清流の国ぎふ森林・環境基金を活用した森林整備等の支援

第2期清流の国ぎふ森林・環境基金事業（平成29年度から令和3年度）では「①100年先の森林づくりの推進」、「②自然生態系の保全と再生」、「③ぎふの豊かな森林・水を活かした環境にやさしい社会づくり」、「④人づくり・仕組みづくり」、「①～④共通施策 地域のニーズに基づいた環境保全活動の促進」の5つの施策により自然環境の保全・再生の取組みを推進しています。

そのうち、「①100年先の森林づくりの推進」では、100年の森林づくり計画（森林配置計画）の森林区分に応じた森林整備等を支援しています。

今後も各事業を推進するとともに、事業実施により引き続き着実な森林配置の転換を行っていきます。

「①100年先の森林づくりの推進」において実施している主な事業

| 事業名 | 事業内容 | 森林配置計画の森林区分 |
|----------------|------------------------|-------------|
| 環境保全林整備事業 | 水源林等の間伐等を行う市町村等への支援 | 「環境保全林」 |
| 水源林公有林化支援・推進事業 | 森林の公有林化を行う市町村への支援 | 「環境保全林」 |
| 里山林整備事業 | 里山林整備を行う市町村等への支援 | 主に「生活保全林」 |
| 観光景観林整備事業 | 観光道路沿いの景観形成を行う市町村等への支援 | 「観光景観林」 |



環境保全林整備事業



里山林整備事業
(危険木の除去)

【恵みの森づくり推進課 倉田 祥彦】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8472 恵みの森づくり推進課 恵みの森づくり係まで

*** 令和改元記念 ***

揖斐すめらぎの森感謝祭



来場無料

10月27日(日)開催!

県と揖斐川町では、皇室三代にわたり森林づくりが行われた揖斐川町谷汲緑地公園の周辺の森について、令和改元を機に、揖斐川町が「揖斐すめらぎの森」と命名したことを記念し、「令和改元記念 揖斐すめらぎの森感謝祭」を開催します。記念講演や森のコンサートのほか、親子で森や木に親しみ、楽しめる様々な体験イベントを行います。

日時 10月27日(日) 9:50～15:00
場所 揖斐川町谷汲緑地公園(揖斐川町谷汲名礼)
主催 揖斐川町、岐阜県(共催)

- 内容**
- 記念式典 谷汲踊、揖斐川町森づくり宣言、記念碑除幕
 - ◇記念講演 涌井史郎氏
 - ◇森のコンサート オカリナ奏者 宗次郎氏
 - ◇アトラクション 中学生合唱、和太鼓演奏
 - 森の恵みバザー
郷土料理・物産の販売、木育プログラム体験、秋の森林散策会、丸太切り体験、ステンシル絵付け、100年先の森林づくりクイズ、森林総合教育PR など
 - ぎふ木育体験
森のようちえん、木工体験、木のおもちゃ広場、木のジャングルジム、木製こどもアスレチック、木の巨大迷路、ぎふの木のおうちすごろく など



※ご来場の際はシャトルバス(無料)をご利用ください(8:30前後から運行(およそ20分間隔))会場周辺の駐車場は利用できません
 【揖斐川町内 臨時駐車場(無料)】揖斐川町役場(三輪133)、揖斐川健康広場(上南方853-49)
 地域交流センターはなもも(上南方27-7)、谷汲振興事務所(谷汲名礼265-43)

揖斐川町
公式ホームページ



【林政課 川畑佳代子】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-1111内線(3023) 林政課森林企画係まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

茜色の夕日に染まる稲穂の上で舞うアキアカネを見ていると、近くに飛んできた一匹が、アカネの先端に止まりました。

アカネ (*Rubia akane*) は本州や四国、九州に分布するツル性多年生で、路傍や林の縁などでよく見かけます。

葉は心臟形から長卵形で長い葉柄があり、葉は二枚が対生するのが基本ですが、よく観察すると茎の下部には葉が六枚輪生し、中程

は四枚、最上部は二枚となっており、す。このうち四枚や六枚のものは、托葉が葉のように変化し、偽輪生したもので、本葉であれば葉腋から枝や花序を発生させます。つまり葉の腋から枝が出ている方向にある葉とそれに対生する葉が本葉で、それ以外は托葉の変化したもののなのです。

ツルの茎は四角形で水分や養分の通る維管束が発達しており、その角には下向きにカギ状の細かい刺(とげ)があり、これによって他の物に頼りながら直立します。

九月頃にツルの枝先や葉腋から集散花序を出し、小さな淡黄緑色の五弁花をつけ、晩秋には果実が黒く熟し、軟らかい果肉の中に種子が一つ入っています。

茜染め原料とされる根は乾燥すると赤黄色から橙色となり、赤い根であることからアカネと名づけられました。ちなみに属名の *Rubia* はラテン語の *ruber* (赤) に由来しており、宝石のルビー (*Ruby*) も同

じ語源です。

茜色の色表現は染色ではアズキ(小豆)の種皮のような濃赤紫色く暗赤色ですが、一般的には夕焼けのような朱橙色をイメージする人が多いと思います。万葉集には「茜」を詠んだ歌が十三首あり、こうした影響もあるのかもしれませんが。万葉の人々は朝焼けや夕焼けの美しさを「茜さす」と形容し、多くの詩歌に詠みこんできました。しかしこれらはアカネには直接関係が無く、赤い根の色(茜色)などの印象から、日や昼、紫、照る、君にかかる枕詞として使われています。

万葉の女流歌人、額田王(ぬかたのおおきみ)は「茜さす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖振る」と詠み、これを解説すると「夕焼けの茜に染まった紫野の御料場まで人目を忍んで来てしまいました。それなのに貴男は私に向かつてそんなに袖を振っては、野守に見つからないでしょうか」

という歌です。

漢字の「茜」は、西の空を染める草、または染色利用が西から渡来した草であるとする説もあります。この漢字はもともと中国で草の名前として使われていたもので、当時の日本では「セン」と表現されてきました。これが日本では染色として用いられていたアカネの赤い根を表す訓読みとして表現されたのです。

茜色は夕焼けの色やトンボの色が先ではなく、植物の名前が先にあつたのです。



▲アカネ茎葉と根 (特徴的なツルと葉、根)

～ぎふ木遊館 開館前イベント～

ぎふ木育WEEK・山の日フェスタぎふ2019 を開催しました。

8月の「ぎふの山に親しむ月間」と国民の祝日である「山の日」（8月11日）に合わせて、県民の方が楽しみながら、ぎふの山や森林・自然・林業のことを考えていただく機会として、8月11日（日・祝）～12日（月・振休）に、ぎふ清流文化プラザにおいて山の日フェスタぎふ2019を開催しました。

来年4月に開館する木育拠点施設「ぎふ木遊館」で体験できる「ぎふの木のおもちゃ広場」や「木育プログラム体験」のほか「ワークショップコーナー」、「森林・林業に関するパネル展示」など、家族連れの方々が、一日中楽しめるイベントを開催し、2日間で1,860人の参加がありました。

ぎふの木のおもちゃをはじめ、グッド・トイのおもちゃなど約80種類のおもちゃをそろえた「ぎふの木のおもちゃ広場」や、「木のジャングルジム組み立て体験」、「木育プログラム体験」などで会場が埋め尽くされ、親子で一緒に遊んだり、子供と遊ぶうちに大人の方が夢中になったり、初めてのお友達と一緒に積み木を高く積み上げたり、来場者は木に触れて親しみ思い思いに遊んでいました。

また、ステージでは、「つみぼぼ世界選手権」、「ばらんすぼーる世界選手権」、「おはなしおもちゃ劇場」などを催し、会場を大いに盛り上げました。同じ会場で、県内の森林や木材関連団体による森の恵みを使ったワークショップや展示・販売ブースも集まり、各ブースとも多くの方が立ち寄り、楽しんでいただきました。

また、初日のオープニングには、トイピアノ演奏者によるオープニングコンサート、二日目には、ギター奏者によるランチタイムコンサートを開催し、会場を大いに盛り上げました。

最後に、ステージイベントにご出演や、各ブースにご出展いただいた方々、その他開催にあたりご協力いただいた各団体の関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。



ぎふの木のおもちゃ広場



木のジャングルジム



ばらんすぼーる世界選手権



おはなしおもちゃ劇場



木育プログラム体験



各種ワークショップ
(夏休み自由工作)



各種ワークショップ
(松ぼっくり工作)



各種ワークショップ
(木製品の販売等)



オープニングコンサート
(トイピアノ演奏)



森林・木材関係展示



白山白川郷ホワイトロードの紅葉

白山白川郷ホワイトロードは、9月下旬より紅葉が始まっており、標高差が大きいので、11月上旬までの長い期間にわたって紅葉を楽しむことができます。

美しい紅葉は、県境の三方岩岳から始まり、麓へとおりていきます。展望台や車窓から眺める赤や黄色の紅葉は、針葉樹の緑に映えてとても鮮やかです。

石川側では、色づいた紅葉が、勢いよく流れ落ちる雄大な滝をより一層美しく見せてくれます。

また、白川郷では、10月中旬はどぶろく祭りの季節です。里の木々も赤や黄色に色づき、秋の訪れを感じさせてくれることでしょう。

鮮やかに彩られる白山白川郷ホワイトロードの紅葉をぜひお楽しみください。

なお、紅葉情報はホームページにて随時更新していますので、お出かけの際はご覧ください。

通行料金 普通自動車 1,600円
軽自動車 1,400円

営業期間 11月10日まで(予定)

利用時間 8時～17時(出口閉門時間 18時)
※ただし、9月21日から10月20日までは、
モーニングタイム実施のため、7時～17時

ホームページ <http://hs-whiteroad.jp/>



紅葉と白山

お問い合わせ先

(公社) 岐阜県森林公社 白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664

【治山課 増田 龍太】

企業との協働による森林づくり



「豊田合成 樹守の里」

～ 森林づくり協定を締結し活動を開始～



県では、県民協働による森林づくりの一環として、「企業との協働による森林づくり」を推進しています。このたび、その24例目として、4月11日に豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市)、美濃加茂市及び県との間で「豊田合成 樹守の里」における森林づくり協定を締結しました。

豊田合成(株)は、令和元年6月に創業70周年を迎え、この節目の年に森林づくり協定を締結し、放置された里山の再生と豊かな水の確保を目指して、森林整備を実施します。また、整備後は地域の森林・環境教育の場として活用するなど、地域社会への貢献を推進します。

6月には「豊田合成 樹守の里」の看板の除幕式や第1回活動に向けた有志社員によるプレ活動(森林整備)が実施されました。また、7月20日には豊田合成(株)の社員とその家族、約50人が出席するなか、第1回活動が行われました。豊田合成(株)から今後の活動に対する想いと展望が述べられた後、除伐や下刈り等の森林づくり活動を実施しました。活動を通して、参加者は森林の役割や大切さを学びました。

豊田合成(株)のみなさん、今後も地域と一体となり、里山林の再生を目指した森林づくり活動等よろしくお願ひします。

豊田合成 樹守の里

- 森林の所在地
美濃加茂市山之上町字矢吹地内他
- 森林の面積
2.70ヘクタール
- 協定期間
平成31年4月11日～令和6年3月31日
- 活動内容
(1) 里山整備(下刈り、除・間伐など)
(2) 歩道整備、地域交流事業



【恵みの森づくり推進課 伊藤 曜仁】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3034)恵みの森づくり推進課まで

東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会選手村ビレッジプラザ提供木材出荷式 を開催しました

岐阜県では、県産材のブランド力を高め、国内外での販路拡大につなげるため、平成29年に「岐阜県『東京オリ・パラ』県産木材利用促進協議会」を設立し、オール岐阜県体制で東京オリンピック・パラリンピックの関係施設での県産材利用に取り組んできました。

これまで、選手村ビレッジプラザや、新国立競技場の軒・庇などで県産材利用が決まっています。



選手村ビレッジプラザの内覧イメージ

© Tokyo2020

選手村ビレッジプラザは、ヘアースタロンや店舗などが配置され、選手が競技に向けて心を落ち着けたり、心身の疲れを癒やしたりする場所です。

選手村ビレッジプラザのうち、公募5施設で最大規模となるB1棟に、6市町村（関市、中津川市、郡上市、下呂市、白川町、東白川村）が、東濃松と長良杉の製材品を、岐阜県が県産ヒノキ合板を提供することとなりました。

このほど、全ての部材の加工が終わったことから、その出荷式を、8月20日（火）にぎふ清流文化プラザで開催しました。

出荷式は二部構成で、第一部では、まず、加藤拓三氏による和太鼓演奏で会場全体を盛り上げていただきました。続いて、シドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子氏から、木の香りがあふれる選手村ビレッジプラザで、大いにリラックスし、本番では最高のパフォーマンスを発揮していただきたいとの心温ま

るビデオメッセージをいただきました。また、オリンピック・パラリンピック競技大会県強化指定選手である辻すみれさん（フェンシング）、篠田泰邦さん（アーチェリー）に、競技種目の見所などを紹介していただきました。



辻すみれさん、篠田泰邦さんによる競技種目の紹介

第二部では、6市町村の市町村長と子ども達が、それぞれの地域の木材を元気良くトラックに積み込みました。

その後、岐阜県知事や東京2020組織委員会佐藤副事務総長など関係者によるテープカットや、記念撮影を行った後、参加者全員でトラックの出発を見送りました。



市町村長、子ども達による木材の積込



参加者全員で記念撮影

今後は、9月末までに全ての木材を納入し、来年6月には完成する予定です。今から、東京2020オリンピック・パラリンピックの開幕が楽しみです。

【県産材流通課 伊藤公博】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0581-2721-8487

県産材流通課まで



山のおじゃまむし



—喜寿記念同窓会、ヨツスジハナカミキリー【第339回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

令和元年7月。高校の同窓会が開催された。場所は高山市の某ホテル。久しぶりに友と、飲みながら語り合える。始まる前から胸がわくわくする。会場には「喜寿記念同窓会」と大きな看板。その回りには人、人、人。皆80歳に近い老人ばかりだ。しかし、皆若々しい。とても喜寿を迎える老人だとは思えない。「久しぶり。元気か」、「お陰様で」。こんな会話があちこちから聞こえる。出席者は61名、このうち女性が24名。相変わらず容姿端麗?だ。札幌、広島、東京など遠方から駆けつけたものもいた。遠方からも引きつける同級生という言葉。不思議な3文字だと思う。驚いたのは恩師が来ていたこと。先生とは60数年ぶりの再会だ。大変元気でとても90半ばとは思えない。当時のことが頭をかすめ懐かしくなった。また、今年は令和になったばかりなので、この元号についての講演があった。講師は同級生のM氏。著名な国文学者だ。「まさか、あいつが。こんな偉い人に」と驚いた。講演時間は短かったが、よく理解出来た。さすがこの道の権威者だと敬服した。この同級生は死ぬまで古文の研究を続けていくというからすごい。私は情けなくなった。年々、虫に対する情熱が薄れているからである。

× × × ×

乾杯。しかし、すぐに席を離れることはできない。こちらの習慣で「めでた」というお経のような歌がでないと、酒を酌み交わすことができないからだ。この間、20分。短いようで長い。「この習慣、まだ続いているの」と隣席の友。やはり長く感じているようだった。さあ、宴会開始だ。飲んで、食べて、語る。いつもの光景だ。しかし、全員後期高齢者。酒や食事の量は少なくなっている。しかし、話す時間は前より多い。盃を手にしたままべらべら喋りだし、いつまでも続く。話題は病気や親の介護、それに家族のこと。これはいつものことであるが、今回は年金の話題が多かった。出席者のほとんどが年金生活だからだ。ある女性は、東京から高山までの旅費が往復4万円。それに宿泊料、会費などを含めるとかなりの出費。出席するのを考えたという。それが北海道から来た人がいる。「すごい額だろうね」と私に聞いてきた。私はわからなかったの、その友に聞いた。驚いた。4万円以下だったのである。なぜ、こんなに安い。その理由を聞いた。制約はあるけど格安航空を使ったからだという。「年金生活者はいかに安くできるか。頭を使うべきだよ。認知症の予防にもなるからね」と、友は笑った。

× × × ×

女性数人と話していたときAさんが「高3の時、生物部で一緒にキャンプをしたけど、誰がいた」と聞いてきた。しかし答えら

れなかった。宿泊場所は高根村の小学校で参加者10人ほど、夜は寒くて眠れなかったこと以外は記憶にないのである。特にどんな虫を採集したのか。このことすら思い出せなかった。ショックだった。これが後期高齢者のたどる道かと思うと悲しくなってきた。またある女性は「今でも虫を採っているの。尊敬するわ」。すると別の女性も「そうなの。すごいわね」。こんなことを言われ照れくさくなった。今までは「まだ虫を追っているの」、「あんな小さな虫のどこがいいの」などと冷やかな目で見られていたからである。私はお世辞とは思いつつ嬉しくなった。ここにいる女性とは昔からの友達で、今でも「〇〇ちゃん」、「〇〇さん」、時には「〇〇子」と呼び捨てにすることもある。「みっちゃん、若いね。顔が艶々しているよ」、「ほんと。嬉しいわ」。喜寿を迎えてもこんな会話が出来る。これが同級生だと思った。

× × × ×

また、今回は厳しい現実を目の当たりにした。すでに52名が故人となっていたのである。特にこの2年間だけで20名。ショックだった。これが喜寿同窓会か。米寿の時は…などと考えると悲しくなってきた。当時の友の顔が目に見えなくなった。その中に女性のHさんがいた。卒業してから全く会っていないので、記憶はほとんどない。結婚してブラジルで生活していたので、どの同窓会も欠席。存命なら、恐らくこの喜寿同窓会には出席しなかったのではないかと胸がつまった。「まさか、あいつが」と驚いたのがM氏だ。高校時代無二の親友で、いろいろなことで行動を共にした。忘れられないのが高3の時にD氏と3人で高根村野麦から乗鞍岳へ登った時である。あとわずかという所で、M氏が高山病になり、動けなくなってしまった。回復するまで、私は昆虫採集。花にいる虫を探したり、ハイマツを叩いたりした。しかし、虫はいない。唯一採れたのがヨツスジハナカミキリーであった。この時の記憶が今でも残っている。2時間ほどで彼は回復。頂上まで行くことができた。あの時、動けないまま、夜になってしまったらどうしただろう。今思うと回復してくれて良かったと思う。その彼とはもう会うことができない。悲しい。さようならM君。いよいよ閉会だ。幹事が挨拶。これが良かった。「この同窓会は長くは続かないだろう。こうなれば誰が最後まで生き残るか競争だ。お互い頑張ろう!」



▲ヨツスジハナカミキリー



羽島市立竹鼻中学校 武道場

羽島市竹鼻町3176



施設全景

施設概要

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 事業年度 | 平成30年度 |
| 事業主体 | 羽島市 |
| 構造・ 延床面積 | 鉄骨造 平屋建て 685㎡ (内装木質化対象床面積467㎡) |
| 施設用途 | 中学校 武道場 |
| 木材使用量 使用樹種 | 7.98㎡ ヒノキ (県産材100%・7.98㎡) |
| 全体事業費 | 199,584千円 |
| 助成額 | 4,670千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業補助金) |
| 設計者 | 株式会社 岬建築事務所 |
| 施工業者 | 株式会社 田中建設 |
| 工期 | 平成30年6月29日～平成31年3月5日 |

施設の経緯

竹鼻中学校は羽島市内の中学校で唯一、武道場が整備されていませんでしたが、学校や地域の皆様方から、地域に開かれた武道場を整備してほしいなどの要望を受け、平成28年度から整備計画を進めてきました。

平成30年度に竣工を迎えることができ、学校や地域の武道場として親しまれています。



武道場

ここに注目!!

床には、傷に強く耐摩耗性に優れた岐阜県産のヒノキ圧密材を使用しており、また内壁にも岐阜県産のヒノキを使うことで、生徒らが快適な環境で柔道や剣道に励むことができるよう配慮しました。

利用者の様子

授業や部活動に打ち込む生徒の元気な声が響き渡っています。夜間は、スポーツ団体が利用する等、一般利用者にも喜ばれています。



活動の様子



■問い合わせ先
羽島市教育委員会 教育総務課
TEL 058-393-4611

恵那市の森林づくり

恵那市の森林づくり施策を紹介します。



森林の概要

岐阜県の南東部に位置する恵那市は、市域が50,424haで起伏に富んだ緑豊かな中山間地域です。市内の森林面積は、39,019haあり市域の約77%が森林です。民有林は、34,225haあり、その内、人工林率は61%となり、そのほとんどが東濃松と呼ばれるヒノキの人工林で79%を占めています。

これらの森林は、木曾川、土岐川・庄内川、矢作川の3流域の水源地でもあり、大井ダム、阿木川ダム、小里川ダム、矢作ダムとダムの多い市でも有名です。

恵那市の森林づくり

恵那市は、平成18年に市民団体や森林関係者、林業・林産関係者で構成された「えなの森林づくり推進委員会」を設置し、「えなの森林づくり基本計画」を作成。また、具体的に施策を実施するため、「えなの森林づくり実施計画」を作成し、行政だけでなくえなの森林づくり推進委員会による提言や意見をふまえた森林づくりを進めています。

この計画は、先人より受け継いだ恵みある資源を、より良い形で未来へ繋げるため「えなの森林 活かして守って次世代へ」市民の力で持続可能な地域循環型の森林づくり」として、3つの観点から施策を展開することとしています。

えなの森林を活用する

恵那市では地域材の利用を促進するため、公共施設の木造化や木の駅プロジェクトを推進しています。

木の駅プロジェクトとは、未利用材を搬出・集荷し木質バイオマス燃料やパルプ材として業者に販売し、県と市の補助金を販売額と合わせ出荷者へ地域通貨券



おしま二葉こども園 H30 年度完成



木の駅プロジェクトによる木材収集

えなの森林を守る

として渡し地域内で使用する仕組みです。この取組は平成21年に全国で初めて恵那市内の「立周地域木の駅実行委員会」が取り組み、全国に広まっており、現在市内には4地区の団体が活動しています。

恵那市の人工林は40年生以上の森林が9割を占め、森林資源の有効利用と災害が起きにくい健全な森林育成のため、間伐に対する助成と木材搬出促進のため、作業道補助及び搬出材補助を実施しています。

また、矢作川上流に位置する恵那市(明智町、串原、上矢作町)地域は、下流域の市町村で組織している矢作川水源基金を活用し、矢作川上流の森林整備も行っています。これは、下流域の市町村が川をきれいにするために、上流の森林整備が必要との考えによるものです。

えなの森林を支える力

森林の持続的な維持・管理を行うためには、地域住民や将来担う子ども達に対して森林資源に関する教育や森林技術者の育成が必要です。

恵那市では、毎年、技術者育成のため森林に関心がある方を対象とした林業機械安全講習を実施するとともに、市内の小中学校での森林教育も支援しています。



林業機械安全講習会による技術研修

また、平成25年にはコカ・コーラと提携し「コカ・コーラの森」を中野方町の坂折棚田上流に設置し、愛知県などの子どもたちに毎年、森林学習を行っています。



コカ・コーラの森で下流域の方と森林学習



明智町の白鷹城跡を地域の方と森林整備

地域と協働で進める森林づくり

近年、城ブームから城山を見学する人が増えています。

恵那市には、NHKの連続テレビ小説「半分、青い。」のロケ地となった岩村町に日本三大山城の岩村城跡があり、来年初送予定のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の明智光秀ゆかりの地でもある明智町に白鷹城跡があります。どちらも観光地として、見学者が増えています。

観光面から、「城跡を目立たせるため、山の木を全て伐りたい」と言う声もありましたが、木があることで、地形を維持し、災害を防いでいることを理解していただき、今年度は、明智町の地域住民と一緒に白鷹城跡の整備を行います。今後とも豊かな自然を適切に管理・保全し地域の方と協働で林業を活かした観光振興と林業振興を推進し、恵那市のまちづくりを進めます。

【恵那市役所 林政課 原田宏明】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0573-126-2111(代)

恵那市役所林政課まで

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

6

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

上流域と下流域の交流事業

～清流の国ぎふ 森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー～

岐阜県では、県内の主要な河川流域での自然体験・環境保全活動・環境学習を通して、森・里・川・海のつながりなど上下流域の相互の自然環境について親子で学ぶ『清流の国ぎふ 森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー』を実施しています。

【令和元年度ツアー一覧】

| | 実施日 | コース名 | 主な行先 |
|---|--------------------|--|-------------|
| 夏 | 7/20(土) | 清流長良川あゆパークで森と川のつながりを学ぼう♪鮎のつかみ取りと林業体験 | 郡上市 |
| | 7/21(日) | 川の中にはどんな生き物がいるの？MY箱めがねで生き物観察とあまごのつかみ取り | 東白川村 |
| | 7/28(日) | 和良川で生き物博士と探してみよう！「国の特別天然記念物オオサンショウウオ」 | 郡上市 |
| | 8/3(土) | 干潟ってどんな役割があるの？干潟の生き物観察と河芸カヤック体験 | 三重県津市 |
| | 8/4(日) | 揖斐高原で自然を満喫♪マスのつかみ取りとプチシャワークライミング体験 | 揖斐川町 |
| | 8/17(土) | 地元の子ども達と一緒に川に親しもう！可児川生き物探しとアセロラ農園見学 | 可児市、美濃加茂市 |
| | 8/18(日) | 漂着ゴミの影響を考えよう！藤前干潟クリーンアップ活動と名古屋港水族館バックヤード見学 | 愛知県名古屋市 |
| | 8/24(土) | 森と川の魅力を感じよう！分水嶺ガイドウォーキングとシャワークライミング体験 | 郡上市、高山市 |
| | 8/25(日) | 出発進行！樽見鉄道運転体験と揖斐川でプカプカ浮遊体験♪ | 本巣市、揖斐川町 |
| | 8/31(土) ～9/1(日) | 山の先生同行ツアー♪山や森の役割を学ぼう！☆標高2700m乗鞍岳星空観察会☆ | 郡上市、高山市 |
| 秋 | 10/5(土) | 里山（我田の森）に行ってみよう♪稲刈り体験とザリガニ釣り！ | 可児市 |
| | 10/6(日) | 森の役割ってなんだろう？ひるがの高原で間伐体験とツリークライミング | 郡上市 |
| | 10/12(土) | 長良川流域のつながりを感じよう♪熱気球体験と里山保全活動 | 郡上市、美濃市、岐阜市 |
| | 10/13(日) | 東白川村で秋の森を体感しよう！「東濃ひのき」丸太切り・薪割り体験と栗きんとん作り | 東白川村 |
| | 10/20(日) | 動物と私たちの関係について学ぼう♪猟師体験とワナ猟体験！ | 郡上市 |
| | 10/27(日) | 揖斐川流域を満喫しよう♪樽見鉄道運転体験とEボート体験 | 本巣市、揖斐川町 |
| 冬 | 1/18(土) 1/25(土) | 冬の明宝高原でかわいい動物の足跡を探そう！アニマルトラッキングと雪国体験 | 郡上市 |
| | 2/2(日) | 山県市で冬の自然を体感！ワカサギ釣り体験&絶滅危惧種「ハリヨ」見学 | 山県市 |

※秋・冬コースは予定です。今後、変更または中止になる可能性があります。



プチシャワークライミング



間伐体験



ワナ講座



清流ミナモ

現在、秋コースの参加者を募集中です！

流域の豊かな自然にふれながら、親子で自然環境について学んでみませんか？

ツアー詳細・参加申し込みについては

つながLINK 日本旅行

検索

【環境企画課 加藤奈津子】 ●詳しくは TEL 058-272-1111 内線(2697) 環境企画課まで

郡上市の「ふるさと館」とスギ人工林が林業遺産に!

2019年5月28日、本県初の林業遺産が誕生しました。「郡上林業の歴史と技術を伝承する資料・展示と社叢林」が2018年度の林業遺産に選定され、35番目の林業遺産として登録されたのです。

林業遺産は、日本森林学会が選定・登録するもので、学会の100周年記念事業として2013年度から始まりました。2017年度までに31件の林業遺産が登録され、2018年度の選定で4件が追加されました。林業遺産の認定の対象となるのは、「林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等、土地に結びついたものを中心とする、体系的な技術、特徴的な道具類、古文書等の資料群」です。これまでに、「木曾森林鉄道（遺産群）」（長野県）、「木曾式伐木運材図会」（長野県）、「北山林業」（京都府）、「吉野林業」（奈良県）などが登録されています。

今回の認定対象となったのは、郡上市美並町高砂の「美並ふるさと館」保存の道具類と展示、ならびに関連書籍（道具類・資料群）と星宮神社社叢林（林業景観）です。藩政時代から始まった郡上の育成林業の歴史を生き生きと伝える展示・資料と、歴史の生き証人とも言える1827年植栽の人工林（中部地方で最初といわれる大規模な分収造林）が評価されたのです。とくに、「美並ふるさと館」に関連する展示と資料が地域住民自らの手で実施されたことは、林業遺産を引き継いでいく地域の意志の現れとして高く評価されました。

美並ふるさと館や星宮神社を訪れたことがある方も、まだの方も、当地を訪れて郡上林業の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。また、10月5日（土）13時から、今回の認定を記念して『郡上林業の歴史と展望—林業遺産の認定を受けて—』という講座と現地説明会が「郡上学」の一環として開催されます（詳細は郡上市教育委員会にお問い合わせください）。よろしければ、こちらにもお運びください。

※林業遺産候補の推薦は、森林学会の会員を通じて行われます。今回の推薦は、森林文化アカデミーの教員らによるものです。みなさんの地域に林業遺産候補にふさわしいものがありましたら、ぜひ森林文化アカデミーにご相談ください。



▲ 林業遺産認定証



▲ 美並ふるさと館（展示）



▲ 星宮神社社叢林

【森林文化アカデミー 横井秀一】●詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-35-2525 森林文化アカデミーまで

クリエーター料の木工専攻ではここ数年、学長室の家具製作に取り組んでいきます。涌井史郎学長になってから、天皇陛下（こ来校当時は皇太子殿下）をはじめ、中央官庁、林業・林産業大手の社長、海外の大学の教授など、要人を学長室にお迎えする機会が増えました。それならば、学生たちがデザイン・製作した家具で学長室を飾り、来訪者の目を楽しませ、話題にしてみようと考えたのです。また、次年度以降の学生にとってよい見本にもなります。

実は学長室はそれまで、お世辞にも格式ある部屋とは言えませんでした。スチール製のロッカーや、誰かが持ち込んだ（？）と思われる家庭用の食器棚が書棚がわりに置かれ、高級感も統一感もなかったのです。

今年度の2年生は、会議用テーブルを囲む椅子10脚と、学長机の脇の書棚を製作しました。実習は、学生たちが学長室

学びがたつぷり！

学長室の家具づくり

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 久津輪 雅



の現状を見て、教職員にインタビューを行い、求められるデザインや機能を確認することから始まります。1週間後、1人1人がデザイン案のプレゼンを行い、最も理にかなっている案を核にさらにブラッシュアップします。一連のプロセス

は、社会に出てクライアントから要望を聞き、それを踏まえた家具づくりを行う訓練なのです。

材料はもちろんすべて県産材で、材料選びも重要な学びです。学生たちは人工乾燥材を揃える高山市の材木店で樹種ごとの在庫を確認し、どの樹種を使うかを決めます。図面からそれぞれの部材を取るのに必要な板の枚数を割り出し、1枚1枚木目や色を見極めて注文します。今回の椅子では、脚と背の棒にヤマザクラ、背板と座面にシナ、書棚ではすべてクリを用いました。椅子の場合、脚や背の棒には緻密で硬いことが求められます。一方、座面は軽く柔らかい方が座り心地がいいのです。

実は当初、学生たちは座面にはトチノキを考えていたのですが、材木店の方がこんな話をしてくれたのです。「シナは普通は箱物などに薄く挽くんだけど、このシナは節がなくてあまりにきれいな

で、厚めに挽いておいたんだ」。見ると確かに真っ白で美しい板なのです。教員の私もシナを座面に使ったことはなく、柔らかくて傷がつきやすいかなとも思っていたのですが、材木店の方の思いを聞いてシナを選ぶことにしました。結果、赤みがかったヤマザクラと真っ白なシナのコントラストが冴え、美しく座りやすい椅子になりました。

他にも自慢したい特徴がたくさんあるのですが、紙面に限りもあるのでここまでにします。森林文化アカデミーにお越しの際は、ぜひ「学長室の家具を見たい」と一声おかけください。教職員がご説明させていただきますよ。





名人
所 正幸 (65)
岐阜県恵那市

聞き手
本田 亮平
兵庫県立香住高等学校2年
平成29年取材

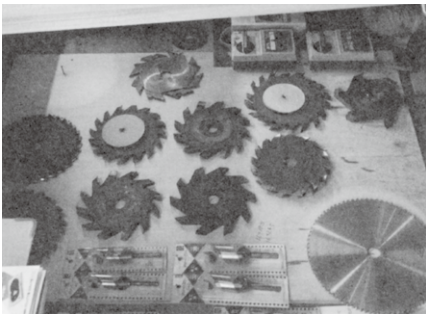
建具職人 建具は、自分を表現するもの

1. 建具ってというのは

建具は家の中で動かすものやね。壁とは違って間仕切りとかいろいろ明かりを入れたりするもんやけど、まず第一条件が動かすってことやね。調子よく動かないと。後は枠を臍すぢで入れて、真四角ばつかじやないけど四角い容れ物作ってその中にいろいろ入れていくわけやね。日本は、組子物が結構盛んなもんでね。一番簡単なのが障子なんやね。和紙を貼って明かりを取り入れる。今はどつちかというところと工芸的な感じになつてきちゃつてる。

2. 道具は

一番最初の信州の親方の時に、普通は一人前になつたときに道具を全部買ってもらうんやけど



木を切ったり、組子の溝を彫ったりする道具

ど。かなやのみやらだいたい買ってもらうつたけど、全部は買ってもらうつてなかつたもんで。その時に服を買つて2万円と、退職時に4万円ももらったよ。それ以外は、銭ももらつたらんね。最初はほとんど何もなしやもんで、与えられたもんじゃなしに自分の道具だけで仕事してた

「森の名人」とは、森に関わる仕事や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の模範となつている達人で、毎年、全国で約100名が認定されています。岐阜県においては、現在、51名の「森の名人」が認定されています。

この「森の名人」を「森の聞き書き甲子園」に参加した高校生が「聞き書き取材」をしたものの中から誌面の関係上要点を抜粋したものです。なお年齢、住所、学年は取材当時のものです。

3. 仕事は

喋るの苦手で営業一切しないもんで、知り合いの大工さんからちよつと仕事があつたり、知り合いの建具屋さんから材料を持ってきて手間だけで作つて欲しいって言われて、結構手間をやりましたね。

最初のうちは、自分とこでもできるけど忙しいもんで頼むつていう形もあるんのと、うちでやるには難しいで、やつてくれるつていう仕事と両方やね。で、今はもう自分じゃちよつと作れない

もんで。ただ一番最初は、ひと月5千円やつたもんでね。かなが1万5千円や2万円してた時代やもんで、かなな丁も買えないんや。やもんで、親方がかな減ると買つちやくれやしただけ。一人前になつてから自分の道具やもんで、全部自分で揃えていったんよ。

4. 自分への挑戦

普通の仕事した方が楽やつて言う人もいるけど、それだけじゃやっぱたるい(つまらない)もんで。作つたものを木工展とかで見せることによつて、今の自分の知名度があがるもんでね。

全国大会に手を出したのは14、5年くらい前ですかね。今の組子はだんだん細くなつてきてるけど、今作つてる組子は1mmやわ。で、もっと細いのをこの中で組んでいくもんで、だんだ

から作つてほしいつていう仕事だけですね、手間は。後は建築屋さんの仕事、建築家さんと大工さんの仕事だけやね。

個人の場合は写真見たり、簡単な絵を描いて、こういうやつでどうしようかつて言つて、気に入つてもらえればそれ作るんですけど。やつぱちよつと凝つたものを欲しがられるね。

この間は、恵那市の木工展があつた時に見に来てくれて、ちよつといい建具を2本だけやけど作りたい、つて言つておいでなすつたもんで。家で写真やらいろいろ見せて、こういうやつでこういう風に作つたらつてアドバイスしたら、それを家に入れてほしいつて言われるんで。作つて入れさせてもらいました。

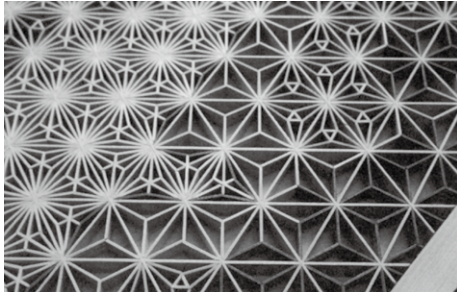
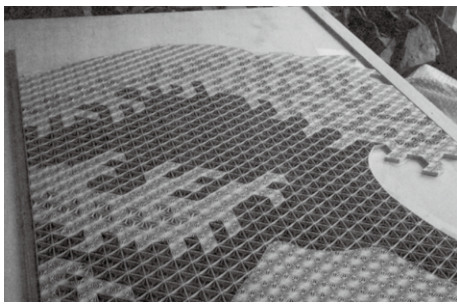
材料はそれなりの物を使うもんで、だいた材料代から塗装代そこら全部入れても4、50万やけどね。もし400万円や材料代が50万かつたとするど、350万は手間やね。高いように見えるけど、普通の仕事したと同じ手間賃やからね。結局これでも160日くらいかかつてるんやけど、日数だけやね。日曜日とか休みの日を全部取つちよつと、作つた日を足すと170日だつたと思つて。で結局日数がものすごくかかるもんで、金額が高くなつちやうんや。

ん自分に挑戦やないけど、展示会行くとみんなすごい組子を作ってるもんで、自分のをもうちょっと背伸びして上へ上へと。だんだん細くなつて、これ以上無理やと思つたんやけど。これじゃつまらねえつてこれやつて、いま木を変えることによつてこまできたんやけど。結局いつべんやるとこまではできる、ほんでこの次どうしようかつて考えるもんで。

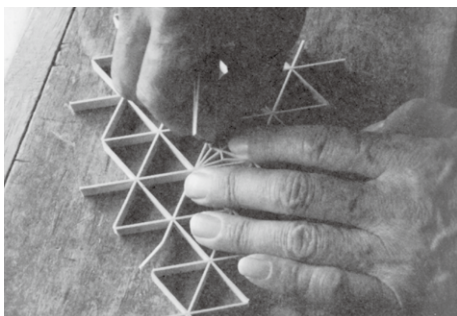
自分で仕事始めてからも忙しいばつかと、そういう研究したり挑戦したりすることができない。やで偶然にも暇な時間が出てくるもんで、ほんならこんなやつを作つてみよかつてことで始めたのがきつかけやね、全国大会に出すのは。今作つてるのは富嶽三十六景のやつ。

100%。縞の色じゃないよ、これ。自然な木だけで作つてる。木の自然の色でやるもんで、ぼつと見た時はこんな色でこんな感じつてわかるんやけど。よく見ると色が全然違う。木で表現するもんでその感じに見せるには、絵の具で塗るのは全然違うんや。

これなんか実際には柱の分入れて3 m 60cmだけど、これの内側に紫のフィルムを貼つて、組子だけじゃなしにフィルムから浮き出る色を見せて



富嶽三十六景の美しい組子



ひとつひとつ手でいねいに組む作業

丁度の形に成るように仕上げてくもんで。組子だけ見てもこの色にはならないけど、全部完成して組み上げて初めてこの色に近い色が出てくる。

こいつはちよつと、今までで一番難儀や。できたら、来年の全国大会に出したいなーとは思つてるけど。

5. 組子で全部作りたい

下絵をもとに今度サブロク(3尺×6尺)の大きさ、大体90cm×1 m 80cmのベニヤに絵を描いて、サイズに合わせて組子を作つていくわけやけど、それが描けるのよ。大きさの割合で描いてあるもんで、描けるはずなんやけど描けない、なかなか。作りながら消してまた描いてね。

富嶽三十六景の設計図には漁師まで載つてるんやけど、そいつを彫刻では作りたくなくて。彫刻家さんに頼んでやつてもらえば結構よう似た形のものでできるんやけど。自分で組子で全部作りたい。彫刻にはしたくないもんで、工夫しつて。結局つ何か作ると今度また何か作るうかつていうことで、工夫をしていくんや。

菱組(菱形を基本とした組子)で親組子を組む時も糊で組んどる。木つていうのは水分を吸つた時は膨らむけど、乾燥したら縮むんよ。だから組んでいる時は大丈夫でも、完成した時にはバラバラになつちゃうこともあるんですよ。なもんで、全部糊使つちゃう。で、糊付けるとそのぶんだけ木が膨らむもんで、ちよつといい硬さで枠に入つても、糊使つと入らなくなつちゃう。それと、木と木を組むと、すうつと滑るんやけど、糊がかむと全然動かなくなる。なもんで、組む時に糊使つとものすづく楽なんや。

結局ここをこつやつて重ねてこつやつていけるんじゃないかな、つてくらいで作り始めてるもんで、大変やな。できるかできんか半信半疑やから。で誰か、できあがつた時に見て、これやつてわからんといけん。あー、似てるなーつてくらいのもんじやあかんもんで。似せて形を作るんやけど、ぼつて見てこれやつていうのがわかるぐらいの作品でないのだめやもんで。木の自然の色を出していこうと思うと大変なんや。

6. これから

このころは一般の大工さんや建築家さんも結構、既製品の建具を使うようになったもんで。建具屋はちよつと暇な状態やね。まあ10年くらい前からそういう兆しはあつたね。でも、うちの場合はてきめんに出てきたのは去年かな。

ただ毎年ね、うちら波があるのよ。偶然にもあつちの大工さんつちの建築家さん何人も人がいつべんにかあつと、やりきれんくらい仕事くるけど、そういう時は金額増えるけど。定期的に仕事をくれる人だけになつた時には、もう仕事1/3くらいになつちゃう。

僕は、人に話す時に積み木みたいなもので話すんですけど。ひとつできるとそれが土台

になつてそれからまた次の上のものを目指せるの。んで、結局だんだんと地盤ができていつて、上のものへ上のものへつて、チャレンジしていきけるもんで。ここでいいわつて、ちいと上がったところで、もうあと努力せずにそのままになるとただの職人になつちゃうんやわ。

これからの目標は、富嶽三十六景を仕上げることやね。今はそれこそ森つくり委員会とか、東濃の振興会みたいな横のつながりに手を出してるもんで。建具の仕事がだんだん減つてきてるつていうか、手がかかる時間が減つてきてるもんで、もう少し組子でいろいろ表現できるものを作りたいなーとは思つてるんですけど。組子が自分を一番表現するものになつてきてるね。

名 所 **正幸**さんのプロフィール

●生年月日：昭和27年5月19日生まれ

●職業：建具職人

15歳から建具の修業に入り、昭和57年に建具製作技能士1級試験を1位で突破して岐阜県知事表彰を受賞した。平成2年には独立して所建具店を営み、伝統の技を磨き続けている。

平成25年の第47回全国建具展示会では、飾り障子「富士山日本平から望む」により文部科学大臣賞を受賞し、平成30年の第52回全国建具展示会では、飾り障子「富嶽三十六景神奈川沖波裏似」で厚生労働大臣賞を受賞した。厚さ1ミリ程度の組子細工や木の色の違いを生かして組み上げられる作品は、繊細で美しく、見る者や使う者の心に響く。

近年は、恵那市の森林つくり推進委員として地域の森林つくりへ積極的に提言することに加え、本業では他の建具店と協力して技術の伝承に努められている。

※原本は長文のため、文章の一部を割愛しています。

【森の名手・名人編集担当】

公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎隆司

治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介します。

効率的な保安林整備事業の計画立案に関する一考察

西濃農林事務所林業課治山係 村井 弘人

はじめに

岐阜県西濃地区では保安林整備事業が停滞傾向にある。

これは、山林所有者の林業への関心の低下や後継者不足、更に市町村の森林をよく知る経験豊かな林務職員の減少もあり、所有者や地元からの保安林整備事業（森林整備）の事業要望を取りまとめることが困難であり、今後も事業要望は期待できない状況である。

一方で機能の低下した保安林は増えつつあり、災害に強い森林づくりを推進するため、保安林整備の重要性は高まっている。

このような状況下で保安林整備事業を実施するには、広大な森林の中から要整備森林を抽出し、労力をかけず保安林整備事業地の計画立案を行うことが求められている。

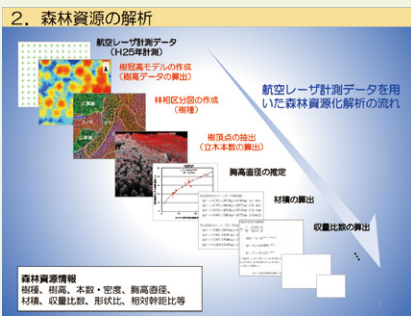
そこで、保安林整備事業の計画に航空レーザ計測データが活用できないか考察した。

考察内容

航空レーザ計測で得たデータが、森林整備計画及び保安林整備事業（実施設計）に活用できるかを航空レーザ測量データとプロット調査データを比較することで検証した。

データ解析

航空レーザ測量データを解析することで、検証に必要な「森林資源情報」である、本数・樹高・胸高直径・材積・収量比数・相対幹距比・形状比を得る。



解析の流れ

解析結果の比較検証

・森林整備計画への活用

解析データと27プロットの平均を比較したところ、大きな差異はなかったため、森林整備計画への活用は可能と考えた。

| | 現地調査 | レーザ解析 | 対現地比 | 誤差率 |
|-------------------------|------|-------|-------|------|
| 1. 本数 (本) | 46 | 43.9 | 95.5 | 8.3 |
| 2. 樹高 (m) | 16.1 | 15.4 | 95.7 | 5.8 |
| 3. 胸高直径 (cm) | 23.6 | 22.7 | 96.2 | 5.5 |
| 4. 材積 (m ³) | 15.2 | 14.4 | 94.8 | 11.2 |
| 5. 収量比数 | 0.71 | 0.68 | 95.8 | 6.0 |
| 6. 相対幹距比 | 18.3 | 19.6 | 107.2 | 7.0 |
| 7. 形状比 | 68.2 | 67.8 | 99.5 | 0.5 |

・保安林整備事業への活用

解析データとプロットごとの比較をしたところ、大きな差異があったため保安林整備事業（実施設計）への活用は困難と考えた。

まとめ

航空レーザ測量データを解析することで、森林状況を把握するための情報を得ることができ、その情報を利用することで、森林整備計画に活用できた。

保安林整備事業（実施設計）活用するためには、十分な精度が確保されているとは言えず、多くの課題を見出すことが出来た。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0584-173-1111

西濃農林事務所林業課治山係まで

ヒノキ球果害虫の

省力的な防除に向けて

森林研究所 ● 大橋 章博

はじめに

スギ・ヒノキ人工林のいびつな年齢構成を是正し、持続可能な森林とするために、県では主伐再造林を推進しています。それには、苗木づくりの低コスト化が必須ですが、スギやヒノキ精英樹から採れる種子の発芽率が低いことが問題となっています(図1)。

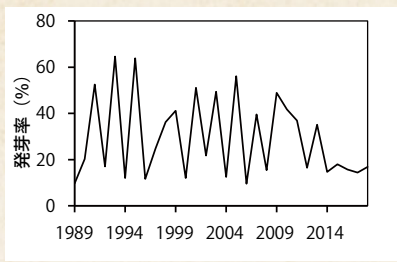


図1 白鳥林木育種事業地におけるヒノキ発芽率の推移

発芽率が低くなる要因の一つに、カメムシ類による被害が挙げられます。カメムシ類が吸汁した球果は正常に発育しないため、発芽しません。

カメムシ対策としては球果への袋掛けが有効です。これは、球果の形成が始まる5月頃に目合いが1ミリ程度の網袋で枝ごと被い、カメムシの吸汁を防ぐとするものです。しかし、枝への袋掛けは枝葉の向きに逆らって行うことになるため、簡単そうに見えてなかなか面倒な作業です。おまけに、枝は2m以上の高さがあり、造園三脚を使う作業となり危険を伴います。

これに替わる方法としては殺虫剤の散布が考えられますが、カメムシの加害期間が長期に渡るため、何度も散布する必要があります。そこでより省力的な防除法として、殺虫剤の樹幹注入による防除の可能性について検討しました。

樹幹注入とは

薬剤を散布するのではなく、木の幹に穴を空けて注入する方法です。薬剤はやがて木全体に拡散し、虫が吸汁や食害すると死亡するというのも

のです。この方法には次のような利点があります。①薬剤が飛散せず樹幹内に留まるので、環境負荷が小さい。②薬剤の効果が比較的長時間持続する。③作業しやすい高さに注入すればよいので、省力化につながる。

防除効果は

球果を吸汁するカメムシは何種類か知られていますが、今回はこのうち最も大きな被害をもたらすチャバネアオカメムシを対象として試験を行いました。

5月にヒノキに薬剤を注入処理し、8月に薬剤処理木と無処理木(各10本)から球果を採取し、2齢幼虫に給餌しました。その結果、10日後の死亡率は、無処理で33%であったのに対し、薬剤処理で92%と高い殺虫効果が得られました(図2)。また、10月に各処理木から採取した種子の発芽率を調べた結果、無処理で14.6%であったのに対し、薬剤処理で61.4%と4倍ほど高く、吸汁を防止できたと考えられました(図3)。

おわりに

今回の結果から、樹幹注入剤がカメムシ対策として有効であることがわかりました。

この薬剤は「毛虫類」の農薬登録はありますが、採種園で使うには「カメムシ類」への適用拡大が必要です。今年も同様の試験を行い、本薬剤の適用拡大を目指します

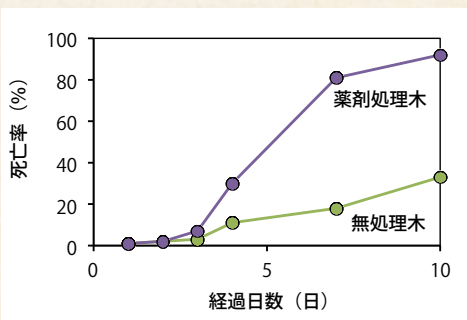


図2 チャバネアオカメムシに対する殺虫効果

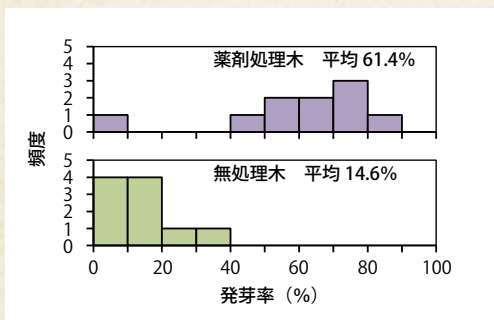


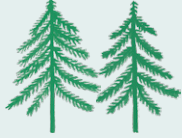
図3 各処理木の種子発芽率 (処理木1本あたり400粒の種子について調査)

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-333-2585

森林研究所まで



岐阜地域（本巢地域）における普及活動 ～木材生産を始めるために～



■岐阜農林事務所 田中 郁男

岐阜農林事務所管内（岐阜地域）は、岐阜県の南部に位置し、6市3町の9市町からなる地域で、森林を有するのは、岐阜市、各務原市、山県市、本巣市です。

今話題の森林環境譲与税、新たな森林管理システムに関する事など、各市町とも手探りな状況です。最新の情報を提供するなど支援していますが、とりわけ、今回は、私が担当する本巣市における「木材生産」に係る普及活動の事例を紹介します。

100年先の森林づくり計画 （森林配置計画）の策定支援

森林配置計画とは、大まかなエリア（林班等）ごとに、長期的な視点と現状を踏まえて将来の望ましい森林の姿を示すものです。

策定にあたっては、林業経営に適した「木材生産林」、水源地など保全要素の強い「環境保全林」を基本区分とし、これに重複する形で「観光景観林」「生活保全林」の4つの区分を設定します。本巣市では、市担当者で課題を整理するとともに、市独自基準等の設定等を検討するためのデータの提供や助言を行いました。

また、基準等に基づき示された「木材生産林」「環境保全林」の区分のうち、「木材生産林」については、本当に木材生産が可能なエリアなのか確認す

るため、森林作業道の整備状況など、市職員と現地調査を行いました。



現地調査

その結果、いくつかのエリアについては、森林作業道の開設が困難な箇所があったり、本来生育しているはずの林分の蓄積が少なかったり等、木材生産するには、適地でなかったり、もう少し、間伐の実施を遅らせるべきエリアが見つかり、市職員に対して、「木材生産林」から「環境保全林」への区分変更を検討するよう指導しました。

このような結果を反映させ、平成30年度、地域検討会で設定区分について合意が得られ、森林配置計画が策定されました。

今後は、森林配置計画で「木材生産林」と位置付けられたエリアでは、間伐や皆伐を進めていく必要があります。

もとす郡森林組合の 木材生産に向けた取組支援

もとす郡森林組合（以下「組合」）は、これまで保育間伐など森林整備主体の事業を行っており、木材生産については消極的でした。

しかし、林齢が高くなってきたことなど保育間伐を実施できる箇所が減少してきているのが現状です。

平成30年度、私が異動してきてすぐに、組合職員から、「木材生産にシフトしたいが、どうしたらよいか。」と相談がありました。

これぞ、組合の変化の兆しと捉え、木材生産に向けた支援を始めました。が、いくつかの課題に直面しました。

一番の課題は、森林施業プランナーがいないこと、経験の浅い職員（具体的には、森林技術者から3か月前に配置転換された職員と市役所を退職後、再就職された職員）しかいなかったことです。

そのため、どのように木材生産に取り組むのか、初歩的などころから支援する必要があります。



【木材生産する候補地選定】

森林GISで、まとまった森林を探索し、過去10年以内に森林整備を実施していない箇所を選定し、前述の職員2名と現地調査を実施しました。その結果、本巣市木知原地区を木材生産事業の候補地に選定しました。



木材生産する候補地選定

【林産システム】

現地は、大型トラックが通行できる林道が整備されていることと、この林道終点付近が緩傾斜地であることから、ここを山土場とし、集積した木材を仕分けし、市場等へ直送する方針としました。

また、組合は林業機械を所有していないことから、グラップル、プロセッサ（いずれも0・45を想定）は、レンタル機を使用し、伐採した木材をできるだけ山土場に集積し、プロセッサで一気に採材することで、レンタル期間を短期とするよう指導しました。

【森林作業道開設線形の現地踏査】

山土場までの集材のために、組合所有の4tトラックの利用を前提として、森林作業道を整備することとした。

幸い、市役所OBの職員は、林道業務の経験が豊富で、図面上で検討した上で、現地踏査を実施した結果、勾配設定などはスムーズに進み、延長1,700mの線形を決定することができました。

測量設計等は、市内の経験豊富な林業事業体と連携して進めることとし、現時点で、必要な許可申請等も取得し、この号が発行される頃には、着手されていることと思います。

【森林所有者同意】

現地調査の結果等から、森林作業道の線形と間伐実施箇所を图示した資料作成を支援するとともに、関係森林所有者への説明会にも参加し、同意を取得に向けた助言ができました。

また、計画箇所内には、岐阜県森林公社（以下「公社」）の分収林が存在したことから、公社がプロポーザル（公募）事業で実施されることとなりました。

この公募事業に、組合が応募する資料作成も支援し、事業を受注することができました。



森林所有者説明会

【森林経営計画作成】

組合職員は、森林経営計画を作成したことはなく、森林経営計画システムの操作の経験もありませんでした。

手取り足取り指導しながら、平成31年4月に岐阜県森林公社との共同計画を作成し、認定を受けました。

今後も、組合主体の森林経営計画作成に向けて、指導・支援していきます。



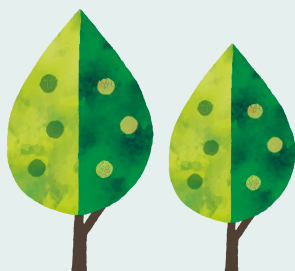
森林経営計画作成指導

【現在の状況】

1年前から木材生産のイロハを指導・支援してきた職員は、もともと現場志向だったこともあり、「現場での腕をもっと磨きたい。」と、現場に戻ってしまいました。

現在は、今年4月に新規採用された職員に対して、一から指導・支援しており、来年度、本当に木材生産できるか少々不安はつきません。

岐阜地域では、このような初歩的な取り組みについても、指導・支援している状況ですが、来年度、組合が無事に木材生産に取り組んでいることを期待して、普及活動していきます。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL 058121417409

岐阜農林事務所まで

木材の安定供給による 林業の成長産業化への貢献

富山、長野、岐阜、愛知4県からなる中部森林管理局の国有林面積は約65万ヘクタール、4県の県土面積合計の約19パーセントに相当します。

岐阜県に限ってみますと、県土面積10・6万ヘクタールの約16パーセントにあたる17・8万ヘクタールが国有林（官行造林地を除く）となっています。さらに、森林資源量を概観すると、国有林の人工林ヒノキ蓄積量は、県全体55,792㎡の約12パーセント、6,570km²に過ぎず、意外に多くはない（むしろ少ない）ことが分かります。

さらに、岐阜県下の木材市場における県産人工林ヒノキ（A材）の取扱量のうち、国有林材のシェアは残念ながらあまり大きくない（一説では一桁パーセントとも）と言われます。量だけを見ると、岐阜県の人工林ヒノキ材の供給は、民有林が主となり担っていると言えそうです。

ただし、その一方、80年生以上のいわゆる高齢級人工林ヒノキ材に

限ってみると、取扱量を国有林材が多く（とはいえ2割程度）占めているとのことで、ブランド材と呼ばれる高品質な人工林ヒノキ材の供給元として、岐阜県内の国有林が存在感を示すことができているのは喜ばしいことです。

ところで、現在、国有林材を購入する方法には、いくつかの種類がある



図1 国有林材の主な購入方法

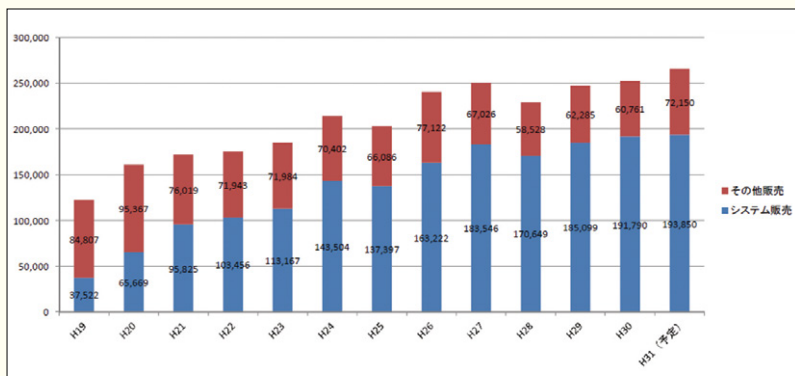


図2 システム販売量の推移

ることを、皆さんはご存じでしょうか。国有林材の販売方法は、①立木販売、②素材販売の2つに大別され、さらにそれぞれが、いくつかの販売方法に細分されています（図1）

これらの販売方法のうち、「国有林材の安定供給システムによる販売（いわゆる「システム販売）」は、平成14年度の林野庁長官通達発出以降、その取扱量を着実に増やしてきました。（図2）

いずれにしても、岐阜県の林業成長産業化に向け、今後、岐阜県産の木材の適正な供給体制の整備、高付加価値等に、これまで以上に取り組んでいく必要があると考えています。

（岐阜森林管理署）

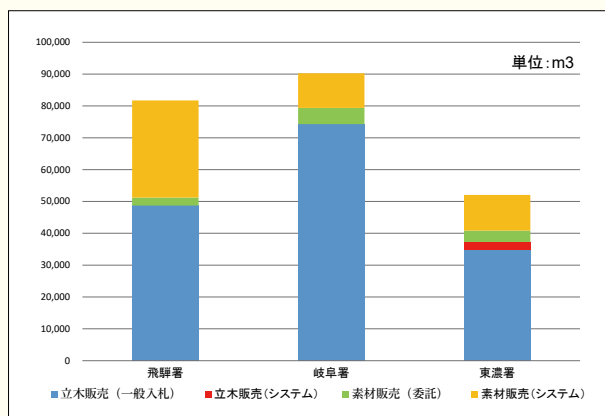


図3 令和元年度岐阜県内国有林材供給（予定）量

特に、合板向けのB材、製紙・発電向けのCD材においては、原木の加工・流通体制の合理化や国産材の需要拡大等にも大きく貢献しています。

一方、近年では、分収育林事業地の伐期到来などを背景に、立木公売対象箇所が増加傾向にあります（図3）。

自然公園で外来植物除去作業を実施



国や県を代表する優れた自然の風景地を指定したのが、自然公園です。

近年の登山者の増加で本来は自然公園に生育していない外来植物が、登山者の靴裏への付着などにより増え、在来植物の生育地を奪うなど生態系に影響を及ぼしています。

そこで、県も協力して、外来植物除去作業を行いました。

対象とする外来植物は、オオバコです。白山国立公園には在来種のハクサンオオバコが生育しており、低地性のオオバコの分布が拡大することで、在来種と外来種の交雑による遺伝的かく乱(雑種の増加)や在来種の減少が問題になっています。

7月28日(日)は、白山石徹白登山道(郡上市白鳥町)で一般参加者とともに除去作業を行いました。あいにくの雨で途中中断となりましたが、参加者は外来植物除去作業の必要性に興味深く耳を傾けていました。

8月4日(日)は、天生県立自然公園(飛騨市河合町)で登山道沿いと駐車場周辺の2チームに分かれて活動を行いました。暑い日差しの中、みんなの力で40kgのオオバコを除去しました。天生県立自然公園では平成19年から取組みを始め、外来種のオオバコは年々減少しているようで成果は確実に出ています。県としても引き続き地元と連携して取組みを支援します。



外来植物除去作業(天生県立自然公園)

【環境企画課 大島、奥中】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-1111](tel:058-272-1111) 内線(2698) 環境企画課自然公園係まで

森林・林業関係イベントカレンダー(10~12月)

林業者向け

| 開催日 | 行事名等 | 内容等 | 開催場所 問い合わせ先 |
|-------------------------|--|---|---|
| 10月29日(火)~ 10月30日(水) | 簡易架線集材等 機械の運転業務 特別教育 | ●講習時間: 29日 9:00~16:00 学科 30日 8:30~17:30 実技 ●申込: 開催日の20日前まで ●受講料: 48,400円(本代含む)(振込み) ●定員: 30名(定員になり次第締め切ります。学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が20名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。) | 29日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 30日(実技) 関市地内山林(予定) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |
| 11月6日(水)~ 11月7日(木) | 伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育 | ●講習時間: 6日 8:30~17:40 学科 7日 8:30~17:30 実技 ●申込: 開催日の10日前まで ●受講料: 19,250円(本代含む)(振込み) ●定員: 30名(定員になり次第締め切ります。) | 6日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 7日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |
| 11月19日(火)~ 11月22日(金) | フォークリフト 運転技能講習 受講資格: 自動車普通運転免許 所持者 | ●講習時間: 1日目 8:30~16:30 学科 16:30~17:30 学科試験 2~4日目 8:00~17:30 実技・試験 ●申込: 開催日の20日前まで ●受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ●定員: 30名(定員になり次第締め切ります。) | 学科: 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技: ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |
| 12月3日(火) | 刈払機取扱作業 安全衛生教育 | ●講習時間: 9:20~15:00 学科 15:00~16:30 実技 ●申込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定員: 30名(定員になり次第締め切ります。) | ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195 |

COLUMN

コラム

10月に開催される愛知県名古屋市の木材関連のイベントを2つご紹介します。

1つ目は、10月3日(木)から6日(日)までポートメッセなごやにおいて、日本木工機械展・ウッドエコテック2019との同時開催で、ウッドワンダーランド2019が開催されます。家具、建材、木製品の展示、DIY教室及びプロ棋士による指導対局など大人も子供も学ぶことができます。詳しくはHPにて<https://mokkiten.com/>

2つ目は、10月10日(木)から12日(土)まで名古屋市中小企業振興会館吹上ホールにおいて、建築総合展NAGOYA2019が開催されます。建築関連専門の展示会になります。建築材料、機器及び関連製品の展示、木と建築を学ぶウッドカレッジ、セミナーや講演会などが開催されます。詳しくはHPにて<https://www.chukei-news.co.jp/kenchiku/>

どちらも岐阜県産材のPR出展をおこないますので、是非お立ち寄りください。

岐阜県林政部県産材流通課 園山 香代子

イベント情報

連載 11月1日発行

- 山の歳時記(171)
- 山のおじゃまむし(340)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(82)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(80)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政(35)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報 **その他**

11月号 予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

| 回数 共販所名 | 樹種 | 長さ | 径 | 平均値 | 高値 | 備考 |
|-----------------|--------|---------|---------|----------|--------|---------------------------------------|
| 第1704回 岐阜共販所 | すぎ | 3 m | 16~18cm | 12,700 | — | 単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格 |
| | | | 16~18cm | 11,500 | — | |
| | | 4 m | 20~22cm | 13,500 | — | |
| | | | 24~28cm | 12,800 | 15,100 | |
| | | | 30cm以上 | 12,000 | 80,000 | |
| | 6 m | 16~18cm | 14,000 | — | | |
| | | 3 m | 16~18cm | 17,500 | — | |
| | | | 20cm以上 | 14,000 | — | |
| | | 4 m | 16~22cm | 17,800 | — | |
| | | | 24~28cm | 14,600 | — | |
| 30cm以上 | 14,500 | | — | | | |
| 第1280回 飛騨共販所 | すぎ | 3 m | 16~18cm | 12,000 | — | |
| | | | 24~28cm | 11,000 | — | |
| | | 30cm以上 | 11,000 | — | | |
| | ひのき | 3 m | 16~18cm | 17,000 | — | |
| | | | 20~22cm | 15,000 | — | |
| | | 4 m | 24~28cm | 14,000 | — | |
| | 6 m | 16~20cm | 23,000 | — | | |
| | | 30cm以上 | 14,000 | 51,000 | | |
| | | 3 m | 16~18cm | 17,000 | — | |
| | 9月4日 | まつ | 4 m | 24~28cm | 8,000 | — |
| 30cm以上 | | | | 8,000 | — | |
| ひめこ | | 4 m | 24~28cm | 9,000 | — | |
| | | | 30cm以上 | 9,000 | — | |
| くり | | 4 m | 24cm以上 | 16,000 | — | |
| 第1610回 東濃共販所 | すぎ | 3 m | 16~20cm | 12,800 | — | |
| | | | 22~28cm | 12,800 | 13,500 | |
| | | 30cm以上元 | 13,200 | 13,500 | | |
| | ひのき | 3 m | 16~20cm | 17,600 | 21,000 | |
| | | | 22~28cm | 15,000 | 26,000 | |
| | | | 30cm以上元 | 18,500 | 36,000 | |
| | | 4 m | 13cm以下 | 9,000 | — | |
| | | | 22~28cm | 16,000 | 20,000 | |
| | | | 30cm以上元 | 18,500 | 51,000 | |
| | 9月12日 | まつ | 4 m | 22~28cm梁 | 7,000 | — |
| 30cm以上元 | | | | 9,000 | — | |

木材市場

全般的に横ばいで推移

【商況】

水上げも高地から徐々におさまり入札は活発。スギ、ヒノキ合板向けは、潤沢な在庫を背景に保合。スギ3m柱は品薄により継続して需要旺盛。スギ大径良材は、優良材展へ向けて強含み。スギ、ヒノキ構造材は直送による販売が有利。ヒノキ2m元曲がり合板向け造材が有利。製紙向けパルプ材は、大手工場納材制限は徐々に緩和。発電向け未利用材は、荷動き活発。(岐阜)

ヒノキ元木3m・4m良材には応札多い。ヒノキ・スギ3m・4m二番玉並材は大型工場安定供給に伴い横ばい。広葉樹良材は相変わらず応札多い。長雨の影響などが不安視されているが、同様の流れになると思われる。(飛騨)

ヒノキ元木、良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))には継続して旺盛。ヒノキ並材は3m・4m(16~22cm)横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木良材は継続して旺盛、二番玉並材は3m・4m(16~28cm)長良川木協、森の合板への安定供給に伴い横ばい。スギ、ヒノキともに6m材は需要減。(東濃)

製品卸売標準価格 (8月期)

(単位:円)

| 樹種 | 用途 | 寸法(mm) | | | 等級 | m ³ 当り 価格 | (本(枚)単価) | 前月 比較 |
|--------|----|--------|-----|-----|---------|-------------------------|----------|----------|
| | | 長 | 巾 | 高 | | | | |
| スギ | 柱 | 3000 | 105 | 105 | 1等 | 65,000 | (2,150) | → |
| | 間柱 | 3000 | 105 | 30 | 1等 | 65,000 | (614) | → |
| ヒノキ | 土台 | 4000 | 105 | 105 | 特等 | 65,000 | (2,867) | → |
| | | 3000 | 120 | 120 | 特等 | 60,000 | (2,592) | → |
| | 柱 | 3000 | 120 | 120 | (東濃松)特等 | 65,000 | (2,808) | → |
| | | 6000 | 120 | 120 | 特等 | 120,000 | (10,368) | → |
| W集ウ成ド材 | 柱 | 3000 | 105 | 105 | 国産5層 | 61,000 | (2,000) | → |
| | | 3000 | 120 | 120 | 国産5層 | 61,000 | (2,630) | → |

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (8月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

| 樹種 | 規格 | 価格 | 樹種 | 規格 | 価格 |
|----|----------|-----|-----|-----------|-----|
| 米松 | SSタイプ | 306 | 米梅 | へム(アラスカ産) | 299 |
| | コースト(目荒) | 320 | 米ひば | ポール | 310 |

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

木材用語一口メモ

目視等級区分

材面の品質(見た目)に応じて木材の等級を決めること。目視等級区分構造用製材は製材のJAS規格の一つ。木材の強度に及ぼす節、繊維傾斜、割れ等を目視により等級区分を行う。構造用製材のうち、主として高い曲げ性能を必要とする部分に使用するもの(土台、大引、根太等)を「甲種構造材」、主として圧縮性能を必要とする部分に使用するもの(通し柱、管柱、床束等)を「乙種構造材」に分けて基準が定められている。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建築用語辞典

